

2012年 倉敷市議会 11月議会 質問原稿

1

日本共産党市議団 大本芳子

1、「足利市民総発電所構想」に学ぶ

近年、地球温暖化対策という観点から、再生可能エネルギーへの関心が世界規模で高まっていますが、東日本大震災以降、原発事故に伴う電力不足対策、電力の安全保障対策などの観点から、ますますその関心が高くなっています。そのような状況の中、足利市では、太陽光発電システムの導入や節電・省エネなどの電力受給に関する取り組みを充実させるため「足利市民総発電所構想」を推進しています。

この市民総発電所構想は①創電②節電③蓄電の3つからなっています。

そこで**その1つ創電についてですが**、足利市では太陽光発電にかかわる公共施設の屋根貸出し事業を行っています。この事業は4つのことを主な狙いとしています。①温室効果ガスの発生の抑制②災害時（停電時）における公共施設の強化を図る。③使用料及び固定資産税の収入が見込める④地元企業を活用し地域経済の活性化を図るこの4つを主な狙いとしています。

対象施設は、学校の校舎、保育所、公民館、文化施設などの大型施設です。

この屋根貸し事業は今や全国的に取り組まれています。

1、そこでお尋ねします倉敷市でも新しい施設には市が太陽光発電施設を設置していますが、さらに公共施設の屋根貸出しをして一層創電に努めることを提案いたしますがいかがでしょうか。市長さんにお尋ねいたします。

2、災害に強い地域づくりをめざし避難場所に指定されている施設に太陽光発電システムを取り入れることについてどのように考えられますか。

創電についての3つめ浄水場や配水場における小水力発電の調査研究はどこまで進んでいるのでしょうか4、水処理施設における太陽光発電やバイオマス発電の調査研究はどこまで進んでいますか。

その2 節電についてお尋ねいたします。

① 市役所内の節電、省エネ対策について現状と今後の方針をお聞かせください

② 小・中・高などの屋外等の省電化の現状と今後の方針をお聞かせください。

その3 蓄電についてお尋ねいたします。

防災拠点、避難場所等に蓄電装置を設置することを提案いたしますがいかがでしょうか。

足利市民発電所構想などに関して本市の温暖化対策室の職員も視察されたようですが 視察されてどのような感想をお持ちでしょうかお尋ねいたします。

2、今後の倉敷市政に望むものと題して、去るにあたって心残りのことを数点にわたって述べ市長の見解を求めます。

まずその第1点

①公平・公正な市政運営について

私は36歳の時、倉敷市で初めての女性議員として、また玉島地区で初めての共産党の議員として1975・2月補欠選挙で議会におくっていただきましたが、その後1977年の選挙で落選し、再び1981・1月の選挙で、カムバックし通算9期34年務めさせていただきました。

この34年の議員活動の中で、心残りと言いますか一番残念なことは、議会でもたびたび取り上げましたS元職員にかかわることです。

当該職員は、最終的には交通事故の刑罰により、失職となりましたが、職務上知り得た情報を利用し、廃船の不法放置、農地法・建築基準法・都市計画法違反などを重ねながら、それらでは処分されなかったことは、誠に残念でなりません。S元職員のような不良職員に対し市は何もできなかった、そのことを市長は、どう総括しているのでしょうかお伺いいたします。

また片や、消防職員の人権侵犯にかかわる懲戒免職取り消し訴訟においては、裁判所が任命権者裁量権の逸脱と判断するような不当に重い処分を行ったりしている。強いものには弱く弱い者には強い本市の処分は公平性を欠いており、このままでは、まじめに働く職員がやる気を失ってしまいます。

市職員のコンプライアンスの意識を徹底することはもちろん、公平・公正な市政運営が行われるべきだと考えます市長の決意・考えをお伺いします。

第2点は

②女性行政についてです

ア 女性職員の登用について

以前に比べると女性職員の管理職は増えてきましたが、政策決定の場への女

性の登用は少ない。政策決定の場にどのくらい女性がいるかということはその都市の文化度の表れと言われています。女性の視点を市政に生かすためにも、今後より一層、政策決定の場、幹部職員への女性の積極的な登用を求めるものですが、市長の決意をうかがいたい。

イ 日本女性会議の誘致を

9月議会でもお話しましたように、女性の視点で東日本大震災からの復興や防災の目指すべき姿を探るシンポジウム「日本女性会議2012仙台」が10月26日～28日まで仙台国際センターで開催されました。大会会長は奥山恵美子仙台市長です。全国から2000人の女性が参加しました。この大会の開催に当たり奥山恵美子仙台市長は、「震災は様々な難題を浮き彫りにしました。同じ事態が繰り返されぬよう仙台から強いメッセージを発したい」とあいさつされました。女性の視点で防災を考える3日間でした。今年の仙台大会は29回で来年は阿南市で開かれます。ちなみに去年は松江市でした。中国地方では岡山市はすでに開催済です。そこで市長さんに提案ですが、この「日本女性会議」の倉敷市への誘致ですが、いかがでしょうか。心残りのこと第3点は

③ 児童相談所のことです。

今まで多くの議員が児童相談所の設置を求めてきました。私もその1人です。今、倉敷市では「児童センター」でその業務をしています。現在の業務の中身と、その内訳をまずお尋ねします。センターには一次保護施設がありませんがそのことも含めて答弁を求めます。「児童相談所」についての今後の方針を聞かせてください。

④ 公共交通について

ア 井笠バスの唐突な廃止は、大きな衝撃を与えました。廃業6ヶ月前にはその届出が義務つけられているにもかかわらずそれを無視しての廃業です。まずこのことを市長はどう思うのかお尋ねいたします。

現在市内の3路線の2路線は、何とか3月までは、維持できますが4月からどうするのですか。寄島～新倉駅線は児童・生徒が利用していますし、高齢者の通院バスでもあります。今後の方針をお尋ねします。

イ 中四国でもその存在が評価されている、倉敷科学センターです。

市内の子どもたちにもっともっと利用させたいものですが、あまりにも不便です、以前この問題を私は提起しましたが、その後の検討結果をお知らせください。

⑤ ア 市内の「戦争遺跡」については、倉敷市は全国に先駆けそのマップを制作しました。順次それを表示する看板の設置が進んでいますが、現在は足ふみ状態です。現在の進み具合と今後の方針をお知らせください。

イ この議会にも「亀島山地下工場跡」の保存を求める請願が提出されています。ここまで地道に調査・研究をしてこられた市民団体の皆さんの熱心な活動に心から敬意を表するものです。ぜひ市は前向きに取り組まれますよう心から期待するものです。答弁はいりません。

さて、私の34年の議員活動の終わりに当たり、最後に申し上げたいことがあります。私はこの議場がとても好きです。全国多くの自治体の議場を見てきましたが、倉敷市議会の議場ほど温かみを感じる議場はありません。正面には竜と虎がどんと飾られ、「竜虎の戦い」を暗示しています。竜虎の戦いは、2人の優れた傑物が相争うことですが、この絵は議場に緊張感と闘志を醸し出しています。そしてその周りにはどちらも手前側は、倉敷市の市木と市の花です。そしてあとは古代ギリシャ寓話イソップ物語よりその主人公たちが配されて、夢と安らぎを与えてくれています。本当に立派な議場です。この議場で、旧庁舎の時代も含め連続139回、市政に対する熱い思いを語ることができ、私はそのことをとても光栄に思っています。改めて関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。また2005年より私のブログ「よし子の微笑ブログ」を立ち上げ、議会のこと、市政のこと、県政、国政のこと、四季折々の花、農作業など書き綴ってきました。ご愛読いただき本当にありがとうございました。私の34年はまさに提案し、行動し、走り続けた34年の議員活動でした。

闘うて綴りし一書冬温くし よし子

ありがとうございました。